

第4次横手市生涯学習推進計画の施策に対する令和6年度の評価結果

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A = 合致している B = 合致しているが内容が足りない C = 合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会での評価・意見等
1 生涯学習の振興	(1)市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。	①様々な機関と連携し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境を提供します。	A	A	A			・事業実施主体において、様々に工夫され数多くの事業が行われており充実している。 ・新事業を展開し集客に努めている。 ・目標に合致した学べる環境を色々な事業で展開している。 ・目的を達成できた事業が多く、また、新規事業もあり充実している。 ・まさに「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる充実した内容である。 ・「事業目的」が達成できなかった事業は、見直しや改善に取り組んでほしい。
		②学びの情報を発信します。	B	B	B			・地区交流センター報は充実している。 ・地区交流センター報は、わかりやすい内容で情報発信されており、活動状況などを知る機会が増えている。 ・情報の発信について広がりを感じてはいるが、さらなる工夫を期待する。 ・（昨年の意見にあったように）情報発信に特化した事業を記載すべき。 ・地域によっては地域内の地区交流センター長会議等の場で情報共有ができています。全ての地域において地区交流センター間で情報共有をし必要な情報を市民に発信できる体制になればより良くなると思う。 ・「地区交流センター報」は情報発信として事業実績に記載されていない。取り組みが見えるように実績として記載すべき。
	(2)学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。	①体験活動や交流事業を推進します。	A	A	A			・今後も地域コーディネーターと学校、また地域との連携を図りながら事業を進めてほしい。 ・今後も子どもたちが参加できる事業に地域と連携しながら継続して取り組んでほしい。 ・ジュニア・リーダーの会員が増えることを望む。 ・基本的事業がしっかり実施されているが、目標が「地域で子どもを育てる体制づくり」と考えられるので、その共通認識が必要である。
		②家庭教育を支援します。	A	B	B			・現在行っている事業は有効である。各地区交流センターにおいても家庭教育支援を意識した事業が増えることを望む。 ・今後も市が中心となり家庭教育支援事業を継続してほしい。 ・父親の家庭教育促進事業は、父親と限定しないで親子や家族の教育促進が現状に合っていると考える。 ・少子化で地区交流センターでの開催が困難である。 ・生涯学習課による各種講座等を地域ごとに開催してもらいたい。
	(3)学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。	①学びのサイクル(循環)を推進します。	A	B	B			・地区内での指導者等を育てていく必要がある。また、そうした指導者を活用できるように例えば地区交流センター間で情報共有ができればより良くなると思う。 ・地域人材の活用を図り、地域課題の解決を進めてはどうか。 ・社会貢献につなげる事業の開催を期待する。

第4次横手市生涯学習推進計画の施策に対する令和6年度の評価結果

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A = 合致している B = 合致しているが内容が足りない C = 合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会での評価・意見等
2 社会教育の推進	(1) 各種社会教育関係団体の活動を支援します。	① 関係機関・施設・団体等との連携づくりを進めます。	B	B	B			・地区交流センターは、地区の関係団体とつながっていると考えられるが、どんな団体と連携しているのかわかりやすく記載してほしい。 ・関係団体との連携事業が少ないと思われる。ほかに事業はないのか。 ・連携事業を増やしてほしい。 ・地域に1～2事業ぐらいはあってほしい。
		② 団体活動の充実を目指します。	A	A	A			・地区交流センターが地区の関係団体と協働している状況はあると考えられる。そこをさらに明確にする必要がある。 ・地域に1～2事業ぐらいはあってほしい。
		③ 地域との連携づくりを進めます。	A	A	A			・地区交流センターの活動が「地域との連携」を進めている。 ・地域活性化（存続）につながる事業の継続に期待する。 ・地域に1～2事業ぐらいはあってほしい。
	(2) 公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。	① 公民館等施設を拠点とした地域の活性化を図ります。	A	A	A			・それぞれの実施主体で工夫され充実した事業が展開されている。 ・これからも地域住民と連携しながら地区交流センター事業を実施してほしい。 ・各地区交流センターでは新規事業や様々な事業を展開し地域の活性化が図られている。 ・Ao-naもオープンし事業の広がりが見える。 ・内容が充実している。
		② 人づくりによる、まちづくりを進めます。	A	A	A			・事業実施主体で目標に向かって考えられた事業が行われている。「市議会傍聴」や「食文化の継承活動」など特色ある事業が展開されている。 ・事業を通して地域づくりに尽力している。 ・地域の人材育成を進めながら地域づくり事業（防災・環境美化ほか）を拡大してはどうか。
3 芸術文化の振興	(1) 芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。	① 芸術文化活動を支援します。	A	A	A			・小中学校への芸術普及活動は貴重な体験を得られている。また、各地区の芸文祭も地域の活力に重要である。 ・各地区の芸術・文化活動を今後も続けてほしい（後継者育成を含めて）。 ・芸術文化イベントは市民が参加しやすい仕組み作りをし活動を続けてほしい。 ・小中高対象の芸術文化事業が良い。 ・市として予算を計上して文化推進事業を増やしてほしい。 ・地域の芸文協団体の減少・高齢化が進行しており活動への影響が懸念される。
		② 市民会館の機能・サービスの充実に向け検討します。	A	A	A			・新市民会館に期待する。
		③ 伝統文化の継承と芸術文化資源の活用を図ります。	A	A	A			・様々な伝統文化を継承し現代までつないできている。「継続は力なり」で地道な努力を評価したい。 ・地域の伝統文化の継承を今後も取り組んでほしい。 ・子どもたちの参加が増えた事業があり、コミスクの取り組みとしても期待したい。 ・マンガを活用した事業が、小中高生だけでなく大人を対象とした事業に拡大しており充実している。 ・地域の伝統文化を継承することにより、担い手育成のほか地域の交流を生み出すように取り組んでほしい。 ・担い手の高齢化、継承者不足が深刻である。